

出張講義

環境

レジリエンスについて考えよう～心から環境までを包括して捉える～

担当教員: 福畠 真治 准教授

近年、「レジリエンス」という言葉を聞くことが増えたと感じませんか。「レジリエンス」は、「回復力・強靱性」と訳されることが多く、「大きな危機や変化で致命傷を受けることなく適応し、それをバネとして成長していく」ための要素として説明されます。特に、SDGs(持続可能な開発目標)17の目標の中の6つ(「1. 貧困をなくそう」・「2. 飢餓をゼロ」・「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」・「11. 住み続けられるまちづくりを」・「13. 気候変動に具体的な対策を」・「14. 海の豊かさを守ろう」)において、「レジリエンス/レジリエント」がキーワードとして使われていることもあって、環境保全や災害対策といった大規模な施策に関係した概念と思われることも多いです。日本でも、2011年3月の東日本大震災以降、この考え方が広まってきたという側面もあります。しかし、この「レジリエンス」は、実はその意味だけではなく、「どんな困難な状況にもめげずに乗り越えていく」精神性・心構えといった個人レベルから、「あらゆる環境の急激な変化にも柔軟に対応・適応していく組織・コミュニティのための条件」といった集団レベルまで、幅広く説明することができる概念でもあります。そこで本講義では、皆さん自身や皆さんが関係している集団や地域にとっての「レジリエンス」とは何かを考えることで、それぞれが抱える課題の解決のヒントになればと考えています。

- 受講人数の目安: 特になし
- 所要時間の目安: 60～90分程度
- 高校でご準備いただきたいもの: パソコン、プロジェクタ、接続ケーブル、スクリーン、マスク